

子供達に未来を託して
～12年間の取り組みを振り返って～

大津漁業協同組合
中村哲蔵

1 地域の概要

私の住む豊頃町大津地区は、十勝支庁管内の南東部に位置し、帯広市から約50kmの十勝川河口部に十勝開拓の玄関口として開けた漁業が中心の地域です。海岸から内陸にかけては標高300m程度の低丘陵地で形成されており、平地は畑や放牧地に開拓され丘陵地は町全体の60%を占める森林が広がっているほか、周囲には太平洋に面した長節湖、湧洞湖があります。気候は親潮の影響下にあり5～8月は海霧が発生し、冬期間は乾燥した晴天日が多く放射冷却により気温は-25℃前後まで低下します。豊頃町の人口は昭和30年代には1万人を超えましたが40年代以降減少が続き、現在(H.18)は3,822人で、そのうち大津地区の人口は372人、うち漁家人口は148名となっています。

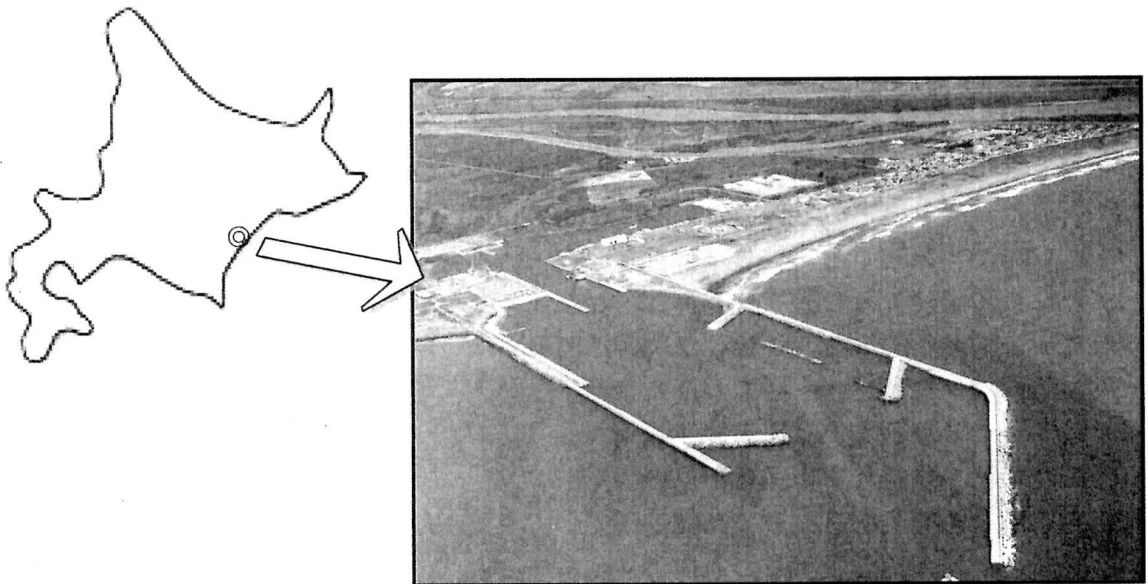


図1 豊頃町大津地区

2 漁業の概要

大津漁協は、組合員166名によって、さけ定置網、たこ空釣り縄、つぶかご、ほっき桁網、ししゃもこぎ網、毛がにかごなどで約4,900トン、約17.7億円の水揚げ(H.18実績)があり、特に、さけに対する依存度が高く、さけ定置網漁業は総水揚げ量の

約 85% (4,140 トン)、金額の約 82% (14.4 億円) を占める重要な漁業となっている他、「大津のサケ」として全国的に知られています。

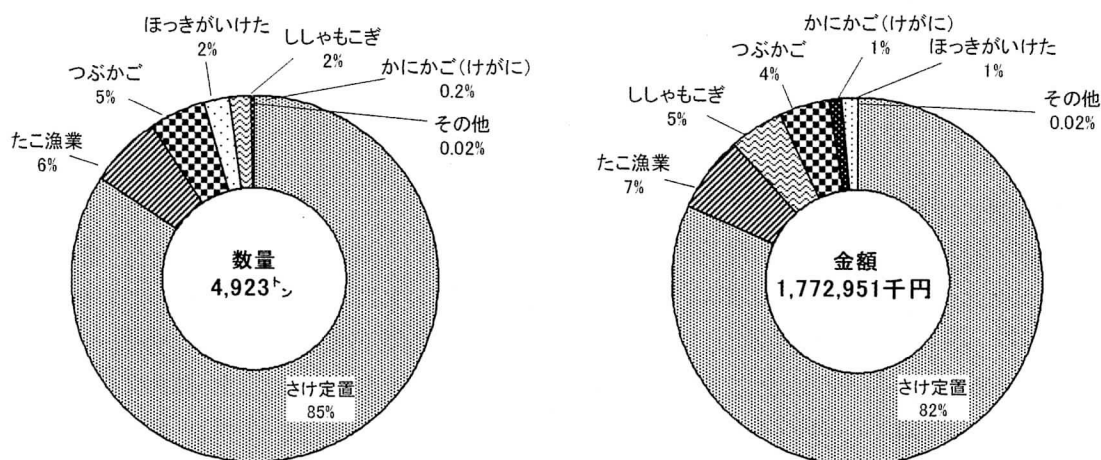


図2 平成18年大津漁協漁業生産高

3 研究・実践活動取り組み課題選定の動機

私が水産の体験学習（以下体験学習）や食育に関する取り組みを始めたのは、平成6年度に北海道知事から青年漁業士として任命されてからで、定置網漁業の経営者として、3人の子の父として地域やPTA、漁協をはじめとした関連組織にかかわるようになってからです。漁業士になって3年程は、漁業士活動とは何かについて考え悩み、青年部を主体としたウニ籠養殖など先駆的な取り組みも行いましたが、閉塞感と現実とのギャップから断念しました。

大津は典型的な過疎の漁村で、日々の生活に追われる傍ら中学校も統廃合され、残った小学校の生徒も激減し、何とかしなくては地域が無くなってしまおうという逼迫した思いがありました。しかし、現実は何事もなく何もしないまま忙しい日々が過ぎ、活気のない地域での生活でした。当時は、すでに魚価安で過疎・消流対策・地産地消・魚離れ・後継者不足の言葉も出はじめ機会あるごとに話題は聞くものの、北海道を見渡しても何の変化も無く「いったい誰がやるのか、何をどうすれば良いのか」について、考えれば考えるほど「まずは、自分が出来ることをすべき」との思いが募りました。きっかけは、豊頃町から町内の内陸部にある豊頃小学校でサケの話をして欲しいとの依頼からでした。深くは



写真1 12年前のサケの話

考えず、自分で漁獲した秋サケを用いて簡単な話を2カ年続け、自分は何が出来るのかを考えた時、漁業のことや魚のこと、おいしさを多くの人に解ってもらいたいという純粋な想いがありました。体験学習の対象者は、小学生を主体としました。大人でも良かったのですが、参集や内容などのプロセスが面倒で困難であったことと、将来を担う子供を優先させれば彼らにとって良い思い出づくりになり、いつか水産業の良き理解者になってくれることが想像できたからです。また、これがきっかけで漁業の担い手になってくれるかもとの期待もありました。

4 研究・実践活動状況及び成果

平成7年から現在までの取り組みを表1に示しました。

当初、体験学習と言っても具体的に自分で難しい話をする事は出来ないし、自分が得意な漁業の体験をさせることが一番良いと考えました。地元の大津小学校では幸いに、太平洋に面した海よりも安全で海に隣接する長節湖が近くにあり、そこで地引き網を行うことを企画しました。しかし、実際には大変で小学校に何度も出向いて具体的な打合せや網の用意をしながら、獲れた魚の話、汽水域の長節湖の話、船外機の陸送、地引網の協力者、昼食のことなど、今思えば人・物・金も考えずに始めていました。当初は少ない人数での対応となり、獲れた魚もウグイを主体にアメマス・チカ・ワカサギ・トゲウオ・カワガレイ等で、我々漁業者にとっては雑魚で、魚の話もごく簡単なものでした。しかし、生徒の関心は非常に高く自然が多い大津で生まれ育ったにもかかわらず、反応の良さに

改めて驚きと意外性を感じました。「こんな雑魚で、こんな内容で、こんなに喜ぶのか」と複雑な思いでした。生きた魚や漁具に触れたり、水浸しで自然に触れることがいかに大切か、漁業者としても父親としても反省と勉強になりました。その後は、豊頃町や水産指導所の支援も得られメニューも増え内容も急速に充実していきました。また、地引網の際にはPTAのお母さんによる地元産のホッキガイのカレーなども昼食に出され、親子や地域住民とかかわる良い機会ともなり、予想しなかった面も見られました。当初はどちらかと言えば「地引網を手伝わせる」内容から、現在は「何を



写真2 地引き網1



写真3 地引き網2

わかってもらいたいのか、いかに生徒のためになるか」を意識し、出来る限りの事を生徒自身にさせるよう努めています。

サケの話についても、当初は簡単であった内容が、現在は大きく変わり、サケの人工孵化の話や実際の漁業をOHPやビデオ、実物の定置網や流し網等（一部）を用いての説明、生のサケを用いた雌雄の見分け方や内臓の説明、銀化・ブナの説明等を行っています。生徒は、十勝川流域に住んでいることや学校の総合学習によっても基礎的な知識を持ち、さらに関心が高くなっています。

平成10年には、魚の美味しさを解って欲しいとの思いから、旬の獲りたての秋サケを用いてサケ鍋・サケフレーク・イクラ醤油漬の料理体験を行いました。試食させる方がメインで料理は手伝い程度でした。しかし、平成12年頃からは、高学年であれば簡単な部分は積極的に包丁を使わせ、近年ではサケ鍋の場合、1尾のサケを切り身にする・野菜を切る・味付け等、大半を生徒に任せて本当に自分たちで作ったサケ鍋を試食できるようになりました。また、他の食材も地元産を使用し「おいしく・安心・安全」である事を説明しています。しかし、生徒の多くはこのように包丁を使った経験がなく、個人差もあるため、1班4～9名（サケ1尾使用）の生徒に対し関係者は2～3名配置し、細やかな指示を心がけて怪我に対する十二分な注意をしています。担当する関係者は包丁を使う技術を持ち合わせ、事前に注意点の確認も行っています。現在の料理体験は、多くの関係者の協力によって行われていますが、今後、彼らが包丁を使えることでの食生活の多様化や、好んで魚を調理し食べてもらうことのきっかけとなればと期待しています。

特に食育を意識した取り組みは、平成19年2月に帯広市内のイタリアンレストランのスタッフ全員による調理の見学と試食会を大津で行い、大津小学校の全生徒と父母が参加しました。食材は地元で獲れるマツブ、ホッキ、秋サケ、タコを用い3名のシェフが目の前で手早く調理する様子を目にした驚きや、試食では料理長からテーブルマナーを含めた1品ずつの説明があり、生徒・父母ともに緊張の中での試食を行いました。父母からは、この食材は大津ではたくさん獲れていつも食べるが、刺身か焼く



写真4 サケの話（雌雄の違い）



写真5 サケの話（網の説明）

か煮るかしか知らず、おいしさだけでなく調理法や雰囲気も含めて大変勉強になった。また、プロは食材を無駄にしないことも感心した等の意見が多くありました。普段は帯広市に出向いても、子供連れで一流店へ食事に行く機会はごく稀で、生産者としても過疎地住民としても生徒としても良い経験となり食に対する関心が高まりました。

これら体験学習を継続している中で、アンケートの結果や生徒の話では、男女ともにほぼ全員から「楽しかった・すごかった・おいしかった」との回答を得たのですが「楽しい」等の意味を考える様になりました。その結果は、自分では「魚に関心を持ってくれた」、「地引き網などの漁法に関心を持ってくれた」、「自然に関心を持ってくれた」、「調理と味を経験した」と言い換えることが出来ると考えています。



写真6 イタリア料理試食

5 波及効果

平成7年から始めた体験学習は本年で12年目となり、町等の支援を受けながらPTAや多くの漁業関係者等が参加し、内容の充実が図られました。また、小学生を中心とした取り組みが、地域住民の人間関係を親密にさせる機会ともなり明るい漁村の形成に結びついています。この取り組みは2003年版の豊頃町勢要覧に町づくり・人づくりの事例として紹介され、広く認められるようになりました。また、近年はテレビや新聞等の地方版だけではなく、全道版でも取り上げられる機会が増えています。

町外の取り組みでは、平成18年に上士幌町の有志による熱気球体験が津で行われ、平成19年には、同町萩ヶ丘小学校の生徒を迎え入れ、地引き網体験を一緒に行っています。農業中心の小学校との交流や、魚や海への関心を促す良い機会となっています。

これまでの体験学習は、主体が小学校の総合学習で、地域からの支援として行うこ



写真7 豊頃町勢要覧

とが多かったのですが、平成 17 年からは十勝管内漁業士会として支援する機会も増えています。平成 18・19 年には十勝支庁と漁業士会との合同開催で行った幕別町札内北小学校の食育事業では、都会の子供達との接点生まれ、平成 19 年の広尾漁協女性部との合同開催では、広尾町内 4 校の小学生から公募による水産業と食育の事業など、漁業士会や各女性部の理解を得て広がりを見せています。

平成 7 年から続けたこの取り組みは、多くの人たちに支えられて来ましたが、最初の生徒は現在 24 才になっています。中には結婚し、親になっているかもしれません。私は、少なくとも彼らの何人かは水産業の理解者であり、多様な魚食や食育の実践者であると確信しております。

サケ料理「親方」が伝授 豊頃小



【豊頃】秋サケ漁産直生上りした、サケの処理を見学に来た市内の親子連れが、サケ料理の調理法を伝授した。市内のサケ漁業士会が主催する「サケ料理の調理法を伝授する会」が開催され、市内の小学校で調理法を伝授した。市内のサケ漁業士会が主催する「サケ料理の調理法を伝授する会」が開催され、市内の小学校で調理法を伝授した。

サケの内臓が取り出される様子を、緊張して見守る子どもたち

中村さんが今夜にちろした後、見守る子どもたち。切刃で、指で加わった下勝地と水産技術普及指導所（広尾）の職員から「力を入らずなさい。一握りは大きく動かして」とアドバイスを受けながら、サケ料理とあまじしを伝授した。市川さんは「15歳の息子さんとサケを切ったのが、この瞬間は上手にできたと思いきや」と話した。（八橋明志）

地産地消料理に挑戦

プロが調理手ほどき
豊頃 大津小で食育の一環



地産地消料理に挑戦する子どもたち。プロの調理師が手ほどきをする様子。

写真 8 新聞記事

6 今後の課題や計画と問題点

課題は、野外での体験学習は天候に左右され、調整や別メニューに苦勞する他、8 月から 11 月までは定置網漁業が忙しいため、両立が困難で現在の取り組みで限界となっています。今後は女性部や青年部の自主性を高め徐々に移行していきたいと考えています。また、充実した内容とするためには、公のアドバイスや人的支援、多くの協力者が必要でした。当初は「あそこの親方は訳の分からん事ばかり手を出して何をやっている」との噂も聞こえました。しかし、妻には休漁日や空いた時間も出かけて負担をかけていましたが、常に協力者でいてくれました。今も最も信頼できるパートナーです。

予算はいつも僅かでしたが、豊頃町や道の普及関連事業、漁業士会、女性部等の助成により周囲が知恵を絞って確保してきました。しかし、個人や各組織内の負担が多いのも事実であり、自由に使える予算があれば広く波及しやすくなると思われま

私の今後の夢は、全国各地の人が大津で宿泊し、地元で獲れたサケの新巻やイクラの醤油漬けを作って年末にそれぞれの自宅へ発送したり、定置網漁船の乗船体験や漁業者との交流の場を作り、本物を自分で作り味わってもらおうと同時に、漁師の事を理解してもらおうことです。生前父親から、「大津は小さい町だから人を大事にしろ、子供を大事にしろ」と言われていました。

この取り組みは、限界もあり効果ははっきりと分からないのがつらいのですが、これまでの経験では、継続することが重要で効率が悪くとも地域の大人として、漁業者として自ら行動することが水産業や食育、自然や環境への理解を促すきっかけになっていると自負しています。

「広尾漁協女性部と十勝管内漁業士会による食育と水産業の学習」案内
 - 漁師のお母さんとお父さんが先生の1日体験学習 -

1	開催日時	10月14日(日) 午前8時30分から午後1時30分
2	開催場所	広尾小学校
3	事業主体	広尾漁協女性部連絡協議会、十勝管内漁業士会
	協力機関	広尾町、広尾漁協、十勝支庁水産課、十勝地区水産技術普及指導所
4	対象者	広尾町内の小学校4校の5～6年生 合計30名程度
5	参加料金	材料費・保険料として1名当たり500円
6	体験学習の内容	<div style="margin-left: 20px;"> 1) サケ漁業の話 ◎ サケ・マス流し網漁業の話 : 流し網を広げてみよう ◎ サケ定置網漁業の話 : 定置網の漁具に触れてみよう ◎ サケの話 : 当日獲れたサケに触れて勉強しよう 2) コンプ漁業の話 ♪ コンプ漁業の話 : コンプを探る道具とコンプに触れてみよう 3) 料理体験学習 (1班数人のグループで行いますが、料理の大半は皆さんが行います) ● コンプ巻き : お土産にしよう ● サケ鍋 : 1班につきサケ1尾を使って鍋を作ろう (班ごとに1鍋作成) ● ジャガイモサラダ : 広尾産新ジャガを食べよう 4) 試食会 (昼食) ご飯、コンプ巻き、サケ鍋、ジャガイモサラダ、イクラ醤油漬け (女性部作成)、サケ数種類の塩焼き、牛乳 (広尾産) ◎ 売っているサケ類の「食べて魚種当てクイズ」 : サケ類を炭焼きにして試食します 7 持ち物 頭巾、エフロン、軍手 8 お土産 コンプ巻き (レシビ付き)、乾燥コンプ、サケ切り身 (味噌漬け) : 予定 </div>

----- 切りとり -----

※申し込み用紙 参加希望者は下記1～4についてすべて記載のうえ、先生に提出してください

1	学校名、学年	広尾町立	小学校	年生
2	住 所	広尾町		
3	ふりがな氏名	_____		
4	生年月日	平成	年	月 日 性別 : 男・女

図2 体験学習案内チラシ

-227-

表 1 水産学習等の取り組み

	実施月日	実施場所	対象者	人数	内 容	実施主体	協力機関
1	H7	豊頃町豊頃小	4年生	—	サケの話	豊頃町豊頃小学校	豊頃町、大津漁協
2	H7	豊頃町長節湖	全校生徒	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、大津漁協
3	H7	大津漁港	6年生	20名	乗船体験、漁業の話	池田町利別小学校	池田町、大津漁協
4	H8.7	豊頃町長節湖	4～6年生	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、大津漁協
5	H8.10.15	豊頃町豊頃小	—	—	サケの話、料理体験学習	豊頃町豊頃小学校	豊頃町、大津漁協
6	H9.7	豊頃町長節湖	4～6年生	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
7	H9.10.27	豊頃町茂岩小	6年生及び父母	—	サケの話、料理体験(サケフレーク、鍋、イクラ醤油漬け)	豊頃町茂岩小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
8	H9.10.30	豊頃町茂岩小	5年生及び父母	—	サケの話、料理体験(サケフレーク、鍋、イクラ醤油漬け)	豊頃町茂岩小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
9	H9.11.19	音更町昭和	全校生徒	17名	サケの話、料理体験(サケフレーク、鍋、イクラ醤油漬け)	音更町昭和小学校	豊頃町、大津漁協、水産指導所
10	H10.7	豊頃町長節湖	4～6年生	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
11	H11.7	豊頃町長節湖	4～6年生	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
12	H12.7	豊頃町長節湖	4～6年生	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
13	H12.11.2	豊頃町茂岩小	6年生	19名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、大津漁協、水産指導所
14	H13.7.9	豊頃町長節湖	4～6年生	46名	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
15	H13.11.9	豊頃町茂岩小	2年生、6年生	25名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、大津漁協、水産指導所
16	H14.7.11	豊頃町長節湖	全校生徒	—	地引き網体験学習	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
17	H14.10.11	豊頃町茂岩小	6年生	24名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、大津漁協、水産指導所
18	H15.7	豊頃町長節湖	全校生徒	—	地引き網体験学習、サケの話	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
19	H15.10.20	豊頃町茂岩小	6年生	18名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、大津漁協、水産指導所
20	H16.7.12	豊頃町長節湖	全校生徒	—	地引き網体験学習、サケの話	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
21	H16.10.22	豊頃町茂岩小	6年生	23名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、大津漁協、水産指導所
22	H17.6.28	豊頃町長節湖	全校生徒	28名	地引き網体験学習、測定、魚の話、お母さんが作る昼食	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
23	H17.10.21	豊頃町茂岩小	6年生	10名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、漁業士会、大津漁協、水産指導所
24	H17.10.24	豊頃町大津小	全校生徒	24名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃町大津小学校	豊頃町、漁業士会、大津漁協、水産指導所
25	H18.6.29	豊頃町長節湖	全校生徒	28名	地引き網体験学習、測定、魚の話、お母さんが作る昼食	豊頃町大津小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
26	H18.7.13	豊頃町大津小グランド	全校生徒	28名	熱気球体験学習	豊頃町大津小学校	上士幌町有志
27	H18.10.5	幕別町札内北小学校	6年生	81名	漁具持ち込みによるサケの話、料理体験(サケ鍋)	十勝支庁、管内漁業士会	管内女性部、水産指導所
28	H18.10.24	豊頃町茂岩小学校	6年生	24名	サケの話、料理体験(サケ鍋、イクラ醤油漬け)	豊頃町茂岩小学校	豊頃町、漁業士会、大津漁協、水産指導所
29	H19.2.20	大津コミュニティーセンター	全校生徒及び父母	48名	イタリアレストラン帯広ラ・ステラポラーレによる調理・試食	豊頃町大津小学校	十勝支庁、漁業士会、豊頃町、水産指導所
30	H19.7.2	豊頃町長節湖	2校全校生徒	43名	地引き網体験学習、測定、魚の話、お母さんが作る昼食	大津小、上士幌町菟ヶ岡小学校	PTA、豊頃町、大津漁協、水産指導所
31	H19.7.10	豊頃町長節湖	4～6年生	72名	地引き網体験学習、海・山・川・魚の話、	豊頃町教育委員会	豊頃町、大津漁協、水産指導所
32	H19.9.23	豊頃町長節湖	札幌市東区子供会小・中	120名	地引き網体験学習(ミステリー列車)	札幌市東区教育委員会	有志
33	H19.10.4	幕別町札内北小	6年生	56名	漁具持ち込みによるサケの話、料理体験(サケ鍋)	十勝支庁、管内漁業士会	管内女性部、水産指導所
34	H19.10.14	広尾町広尾小	町内4校公募5～6年生	17名	漁具持ち込みによるサケ・コンブの話、料理体験(サケ鍋)	広尾漁協女性部、漁業士会	十勝支庁、水産指導所
35	H19.10.17	豊頃町豊頃小	4年生	21名	サケの話、料理体験(サケフレーク)	豊頃小学校(茂岩小と合併)	豊頃町、大津漁協、水産指導所